

TOPICS

- 屋外燃料タンク清掃
- お客様紹介：堀田石油(株)日吉津北SS
- 島根県産業廃棄物協会表彰
- 今月のプレゼント：鳥取名産大栗スイカ

安全最優先で、お客様との信頼関係を築く



姫路油槽所のタンク



留め具付受け皿を使用し、お客様に安心していただきました（左写真）



側板マンホールを取り外している様子。慎重に作業を行います。（上写真）

東西オイルターミナル(株)姫路油槽所において、灯油屋外タンク開放清掃工事を施工させていただきました。

当油槽所は、タンクが立ち並びその間に多数の配管が複雑に敷設されており、資材搬入も声を掛け合いながら慎重に行いました。

残油移送の距離が長いため、ホースを何本もつなぐことになり、ホース接続部には留め具でホースを固定できる専用の受け皿を使用しました。この受け皿は、万一ホース接続部から漏油が発見された場合、復旧までの間の対応策として、過去の漏油事故を教訓に自分たちで考案したものです。

その効果を確認することができ、さらに改善点も見つかりました。

残油移送が終わると、側板マンホール

を開放して十分に換気を行います。タンク内に可燃性ガスがないことを確認した後に、清水・藤原社員がタンク内に入り、手際よく清掃を行いました。タンク内部は、錆や水分はほとんどなく大変きれいな状態で、受け入れ時の厳しい品質チェックが徹底されていることがよく分かりました。

今回の清掃工事で、移送用ポンプの固定方法の見直し、ホース接続部の固定金具の改良等、いくつかの改善箇所が見つかりました。次回の移送作業までに試作をつくり、効果を確認します。

安全最優先で、お客様が指示されたことを守ることは鉄則です。長年の実績を生かし、お客様との信頼関係をさらに構築していきたい。（聞き手長野）

お客様紹介

堀田石油株式会社 日吉津北サービスステーション 様

〒689-3553

鳥取県西伯郡日吉津村日吉津2048-1

TEL 0859-37-0777

FAX 0859-37-0778

リニューアルオープン

当SSは、イオンモール日吉津の北側にある大型セルフステーションです。昨年12月16日日吉津北SSがオープンし、今年5月にピット工場が完成し、リニューアルオープンとなりました。給油はもちろん、新車・中古車販売、カーリースから車検・整備・修理まで、カーライフを強力にバックアップします。快適なSSづくりを目指し、SSの入り口はバリアフリーになっており、建物内は分煙化を実現しました。また、トイレは車椅子対応で、ゆったりと快適に使用できます。

女性にも安心

敷地が広く、出入りがしやすく、女性や年配者に大好評です。給油待ちや洗車待ちの行列もストレスになりません。当SSはセルフステーションですが、給油が苦手なお客様は、スタッフに申し出れば給油してもらうことができます。出来る限り、お客様との距離を縮めたいと考えます。



新しいピット工場が完成しました。



写真左から、安達様、上川様、板谷様。

上川さんは知識が豊富で、いろいろなことを教わって勉強になっている。(安達様)

みんな明るく朗らかでSSの雰囲気が良いと思う。お客様が集まってくる感じだ。(板谷様)

また、当SSはタイヤ販売に力を入れています。車の走りに直結する部分なので、お客様に安全・快適さを提供していきます。メンテナンスが苦手なお客様に対しても、的確なアドバイスをしあげ、笑顔で帰っていただけるようにしていきたいと考えます。お客様には愛車に長く安心して乗っていただくために早めの提案をしていきたいと思ひます。

お客様との笑顔のふれあい

スタッフは男性4人です。キャリア20年の上川店長が、若手の指導を行っています。皆が同じようにスキルアップできるよう、随時勉強会を開いています。特に、お客様とは笑顔のふれあいを大切にしており、声かけなどを通して、お客様との距離を縮め、信頼関係を築くことを強く意識しています。

「お客様に『ありがとう』といただく時が一番うれしい。20年続けてきた原動力となっています。皆ががんばっているので、本当にありがたい。一人一人がそれぞれの個性で、お客様との人間関係を作ってくれることを望んでいます。お客様に喜んでいただけるサービスと人材育成に努めていきます。是非寄ってみてください。」上川サブマネージャーの言葉をいただきました。(聞き手:長野)

島根県産業廃棄物協会 表彰

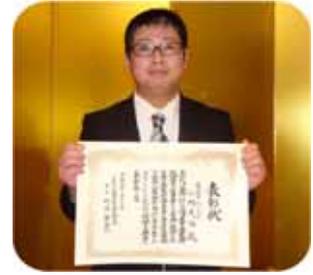
このほど、島根県産業廃棄物協会において、小村社員が優良従事者として表彰されました。

小村社員は、日々分離槽清掃業務を行っています。数年前からは、一人で現場下見後見積みりから施工まで、作業をこなしています。お客様からも信頼を受け、定期的な分離槽清掃の依頼を受けるほどです。

「分離槽が詰まって困っている、早く来てもらえないか」など、緊急要請がはいることもしばしばです。すぐに対応して差し上げると「すぐにきてくれてありがとう、助かったよ」と大変感謝してい



油水分離槽清掃中の小村社員



優良従事者表彰を受け、喜びの小村社員

ただいています。お客様からは、「小村さんに来てほしい」と指名を受け、継続して仕事をさせていただける関係を築いています。

「お客様先の油水分離槽がきれいになっていくと気持ちがいいし、お客様に喜んでいただくのが一番うれしい。最近、油分濃度計を導入した。廃水の油分を測定することによって、お客様へどういったサービスが提案できるのか、また、排水に関する法律や条例等も学んで業務に生かしていきたい。

定期的にお客様からご依頼を頂くのは、大変ありがたいこと。これからも精進していきたい。今まで指導していただいた先輩方に感謝します。」と謝辞を述べました。
(聞き手長野)

本社看板、タンクにロゴマーク完成

シンボルマークは山陰興業の頭文字の「S」をモチーフとして、燃料リサイクルをイメージした「循環」を図案化し、それを環境のグリーンと燃料・燃焼のレッドをイメージカラーとして表現致しました。

このほど本社工場の壁に看板、横にあるタンクにはシンボルマークが取り付けられました。シンボルマークは、グリーンのタンクにマッチしており、地域の人たちに親しんでいただきたいと思います。



制服も一新しました

制服や作業服も当社イメージカラーのグリーンにあわせて、一新しました。さわやかなグリーンにシンボルマークがプリントされています。

いつもきれいな服装で、正確で丁寧な作業を行い、作業前よりも作業後がよりきれいになるよう、心がけていきたいと思えます。



お客様に好感をもっていただけのように身だしなみをきちんと整えます。



山陰と会社を元気にする

1%は誰かのために生きなさい。小さいけれど、とてつもない力 - 鎌田實

社長 山根久志

全国でも人口の最も少ない地域で、私たちは会社を経営しています。この地域にも当然、人口減少の波はひたひたと押し寄せ、この地域経済の急速な縮小は避けられません。当然私たちの将来は非常に不透明です。こういう時にこそ、会社ははっきりと指針を出して、明るい未来を皆さんに示したい。

私は今まで、地域のお客様を大切にしよう。地域から出た貴重な資源を活用して、地域の経済に、特に中小企業に貢献しようと訴えてきました。表現を変えれば、この地域の中でお金を循環させよう。この地域から貴重な資源が、お金が、外部へ流れ出るのを極力防ごう。結果、この地域の経済が豊かになるためのお手伝いが、私たちにも少しでもできる。

これは、この地域の企業として、果たすべき重要な役割の一つです。しかし、域内でお金を循環させることも大切ですが、私たちの小さい

経営規模からすれば、やがて頭打ちなり、限界が出てきます。

そこで私たちの商品力、サービス力、提案力などの価値を上げ、結果県外業者よりも競争力を高める。そして地域外のお客さまからもご使命を受け、地域外からお金を稼いでくる。それでこそ私たちの会社が元気になれるのです。そして山陰が元気になる一つの力になれるのです。これこそ私たちが目指すべきこれからの方向です。

その実現のためには、今まで私たちが創ってきたサービスや技術を、皆で考え、改善、改良を続ける。今日よりは明日、明日よりは明後日と、絶えることなく続ける。それを毎日続ければ、今までになかった素晴らしいサービスが実現します。

私はこう考え、こう実行します

【安原】先ず5Sから始めます。

【河上】まずは、今の設備工事を確実に作り上げる。

【松下】お客様と話をする時は、気持ちのよい対応を心掛ける。

【岸本】「まず1%」「1%ずつ」でも動く、行動していく。

【榎並】お客様、地域の方々に認められるようなメンテナンス事業部にしていきます。

【山口】収集の新しいサービスに向けて1%から改善を始めます。

【吾郷】お客様から「ありがとう」と言ってもらえるようなサービスを実行します。

【木村天】デカンタの設置を工程通り進める。

【横地】きれいな仕事は、身の周りがきれいでないときできません。今月の収集チームの目標にもあるように、通常見えないタンクローリー内の整理・整頓に努めます。

【高橋】私は、回収現場の声を聞かせてもらうために一緒に行動します。

【長谷川】地域密着で頑張ります。

【松本】何事にも率先して取り組み感動を生むサービスを提案します。

【小村】お客様が満足されるサービスを心がけます。

【植尾】お客様のお役に立てる事を探します。

【恩村】今ある仕事を一つ一つ正確に確実にこなしていきます。

【清水】私は1%でも誰かの役に立てる仕事をしたいと思い、今後頑張っていきます。

【金森】お客様に必要とされる収集マンになる。

【藤原大】作業を行い、お客様のため、会社のため、少しでもお役に立ちたいと思います。

【安達】今までと変わらず、安全に大切なエスオイルをお客様にお届けする。

【野々村】目標を必ず達成するために、1%も無駄にしない。

【宮北】自分ができることを着実にこなす。

【藤原拓】お客様に喜んでいただける廃油タンクを製作します。

【松浦】一つ一つの作業を丁寧にし仕事に責任を持ちます。

【福島】お客様の期待に応えられるよう努める。

【石橋】地域から出る資源を外に出さず、地域の経済に活用する。

【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全(KY)を徹底し、安全作業ができるように常にチェックして、作業を行います。

【加藤】現場にて、整理、整頓を行い、気付き力の向上をはかる。

【足立】私は常に「誰かのために」を意識して、自分の仕事を行います。

【藤田】自分に与えられた仕事を確実にやり、お客様の役に立ちます。

【長野】常にお客様に喜んでもらえることを考える。

「人生がときめく片づけの魔法」 を読んで

著者：近藤麻理恵
サンマーク出版



私は片付けが苦手である。特に捨てることはなかなかできない。少し前に「断捨離」という言葉がはやっていて、今使わないものは捨てなさいということであるが、なかなか抵抗があり、実践できなかった。

そうしているうちに、この本を読んで逆転の発想で、これでもしかなかったら捨てることのできるかも・・・と思った。整理したいものを一つ一つ手に取って「ときめきがあるかないか」

ときめきがないものは、捨てればよい。しかも捨てるときには、いかにも日本らしいが、「ありがとう」と感謝を込めて捨てる。これから、この方法で少しずつではあるが捨てることを実践しようと思います。
(木村憲)

「心を込めて掃除しよう」

ご覧になった方も多いたと思いますが、6月1日にNHKで放送された「プロフェッショナル 仕事の流儀」を見て大変感動しました。

羽田空港で清掃の仕事をしている一人の女性が紹介されました。

日本人の父親と、中国人の母親との間に生まれ、生まれ育った中国でも、17歳で渡った日本でも、壮絶ないじめを受けたそうです。そんな中、唯一雇ってもらえた清掃の仕事に寝る間もなく打ち込まれたのです。

そこから、「清掃作業」ではなく清掃の仕事は職人の仕事と考え、施設を利用する人の気持ちを深く深く思い、心を込めてきれいにします。

そこにあるのは“利用する人を思いやる気持ち”「やさしさ」であり、心を込めないと本当にきれいにはできないと言われておられました。

朝の掃除を「ちょこちょこ」とやって「掃除をしている」と思っている自分が大変恥ずかしくなりました。

心を込めて掃除をしようと思います。

(安原)



智頭どうだんまつり

「どうだんつつじ」は、昭和52年10月に「智頭町の花」に指定されています。 どうだん祭りは、可憐な花が咲き誇る5月中旬～下旬に、毎年開催されるにぎやかなお祭りです。5月15日から17日の3日間のお祭り期間中は、どうだんつつじの苗木や、その他の植木・花苗などを展示即売。栽培指導コーナーも設けられており、肥料や水の与え方、剪定の仕方など、失敗しない「どうだんつつじ」の栽培方法をアドバイスしてもらうことができます。



どうだんつつじの花

元氣の出る言葉

中村天風師

他人から受けた恩義はもちろん、どんなささいな事でも、他人の好意は常に大きな感謝で受け入れる。

大きなことだったたら有難がるが、小さなことだったら当たり前と感じる人が多い。

最近の日本国民は、感謝の念が薄くなったように感じます。

他人に迷惑をかけないことはもちろんだが、「ありがとう」の気持ちをいつも心の中に持つ。

(長野)



「ホオノキ」モクレン科の花で芳香がある。

社長が薦める今月の一冊

1%の力

鎌田實著

河出書房新社刊



実の親とも育ての親とも、親子の関係が不運だった著者が、長じて医師になり、長野県の諏訪中央病院で長い間地域医療に献身される。そののちペラルーシの放射能汚染地区への支援活動。イラク、チェルノブイリ救援に献身される。その上著書の印税は、イラク難民支援活動に寄付される。

そんな利他の偉業をなされていらっしゃる人から、直接お話を聴く機会に恵まれました。しかもすぐ目の前で、淡々と優しく。だからこそ説得力があります。

1%は無限の力を秘めている

人生には悲しみや、苦しみや、辛さがあふれています。

自分の中にある「強い自分」に早く気がついてください。

あなたの中の強い部分にいい刺激を与えることが大切。

1%は決して少ない可能性ではありません。1%は無限の可能性を持っているのです。

(p - 32 抜粋) (山根)

編集後記

鳥根県松江市の松江城天守が国宝に指定されることになりました。天守の国宝指定は、全国で63ぶりです。これは、松江市民はもとより鳥根県民の悲願であり、誇りです。

松江城は、1611年に堀尾吉晴によって、築城され、別名「千鳥城」とも呼ばれ、城内には松江の街や城の関連資料が展示され、最上階は松江市街を一望できます。

松江市は、国際文化観光都市として、国内外の観光客におもてなしのころをもつて、接してほしいと思います。観光客の増加にも弾みがつきます。私たち一般市民も、松江城についての知識をもっと深めよう。(長野)

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。

本代は¥1,800+税(税込1,944円)です。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で3名様に鳥取名産大栄スイカを差し上げます。クイズの締切は6月末です。奮ってご応募下さい。

Q: 松江城天守が国宝に指定されることになりましたが、現在、国宝に指定されているお城を4つ答えてください。



先月号の答は、「津和野町、三朝町」でした。福岡市板橋様、大田市石橋様が 当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着状況

- ・農山村は消滅しない 小田切徳美 岩波書店
- ・1%の力 鎌田實 河出書房新社
- ・「イスラム国よ」 鎌田實 河出書房新社
- ・マンガでよくわかる教える技術 石田淳 かんき出版
- ・一生で一番役に立つ「言い方」 小林弘幸 幻冬舎



発行日: 毎月10日

発行: 690-0025 鳥根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail : h.nagano@e-skk.co.jp

印刷: 授産センターよつば 印刷係

ホームページ (<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部へ遠慮なくお申し付け下さいませ。